

1 取組の背景

これまで地域を支えてきた近所の助け合いなど、コミュニティ連携の意識が希薄化しつつある現代において、互いに助け合い、補い合う「持続可能な共助の仕組み」を再構築していくことが必要となっております。今後ますます進行する少子高齢化や人口減少対策として、市民や民間企業同士が自主的・自発的な活動が可能となるよう、次世代型共助創出事業の掘り起こしを行う必要があります。

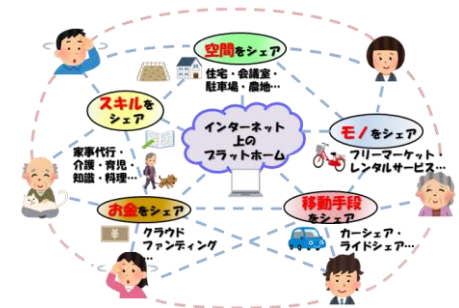
■ シェアリングエコノミーを活用した雪対策

シェアリングエコノミーを活用した事業を展開し、人口減少等の社会変動に対応した地域づくりに寄与する取組みとして、持続可能な事業化を目指します。



**互いに助け合い・補い合う
「持続可能な共助の仕組み」
を再構築**

あるものを設立する 共有する **シェアリングエコノミー**



2 取組の内容

① 企業の地域活動（CSR）×町会の除排雪活動（共助）とのマッチング 4事業者×4町会

雪対策という地域課題に対して、事業者が地域貢献などを目的に除雪機械を貸出し、その機械を活用して地域の除排雪作業を実施したい町会との仲介役を弘前市が果たし、地域除排雪活動の支援を行うものです。

※企業の地域活動（CSR）とは？

収益を求めめるだけでなく、環境活動やボランティア、寄付活動など企業としての責任を持って社会貢献へ取り組むという考え方。

【事業イメージ①】

・仲介
・広報



・仲介
・補償
・広告の作成,配布



除雪機械



事業者

～3者による協定締結～

除雪機械の貸出

広告の発信



町会



除雪活動

② 地域事業者と交通事業者のマッチングによる地域住民の生活環境の向上 1事業者×1大学

雪対策という地域課題に対して、地域事業者が地域貢献を目的にバス停付近の除排雪作業を実施し、交通事業者が車内広告の場を提供する。弘前市は両者の仲介を行うほか、地域事業者の広報ステッカーを作成・提供するほか、広域的な事業展開に向けた広報活動を行うものです。

【事業イメージ②】

・仲介
・広報



・仲介
・広告の作成,配布



除雪活動



大学

～地域課題の解決～

バス停の除排雪

広告の場を提供



交通事業者



バスの車内広告